

2012年2月

間伐材ハンガーにご協力いただいた方々へ

間伐材クラブ

代表 後藤 裕子

ご報告とお礼

昨年7月より製作を開始しました間伐材ハンガーですが、同10月中旬より被災地にお届けを始め、年明けに目標の1万本を達成しました。被災地の方々からは「冬場には衣服が増え、ハンガーが必要な折に届けていただいて、大変助かります」などお言葉を頂戴できました。(裏面に謝辞を掲載しました)

このプロジェクトを始めました頃は、販売面・製作面とも不安なスタートでしたが、販売面では1000名を超える皆さまがご賛同をいただき、お陰様で大変順調に推移しました。一方、製作の方はアルブル木工教室の方をはじめ福祉施設、高校生、小学生、幼稚園・保育園児など世代を越えた500名超の方々のご協力により、昨年11月末にはほぼ1万本を達成することができました。

また、被災地へのお届けには、宮城県大阪事務所、滋賀県高島市社会福祉協議会、いわき市社会福祉協議会、岐阜県立森林文化アカデミー、菊池木工所(盛岡市)、神戸市のマッサージ師の方など多くの方々に仲介の労をとっていただきました。

このように本当に沢山の方々の善意によりこのプロジェクトが達成できたもので、関係者を代表して改めて深くお礼を申し上げます。有難うございました。

最後に本格的な冬になり、東北の被災地の方々には慣れない避難生活に加え、寒さで厳しい生活を余儀なくされますが、どうか皆さま揃って温かい春を迎えられ、そして復興に向けて頑張っていたきたいと、お祈り申し上げます。

【お届け先】

- ・ 宮城県名取市 (4750本)
- ・ 福島県いわき市 (1000本)
- ・ 福島県大熊町 (1500本)
- ・ 岩手県盛岡市 (750本)
- ・ 岩手県田野原村 (875本)
- ・ 宮城県南三陸町、気仙沼市 (600本) など

(裏面へ)

【被災地の方々からの謝辞】

□ 宮城県名取市幹部の方から

今回、ご訪問によりまず手作り木質「間伐材ハンガー」のご支援、まことにありがとうございました。全てを失ったの方々にとって、これからの時期、ジャンパーや防寒着なども含め衣類の整理に欠かせない品物です。プラスチック品が多い中で、今回のような暖かみのある、自然の素材である木質製品は、愛着を持ってご利用頂けると思います。生活に役立てて頂けるように早急にお配りしたいと思います。

また、子供さん方の可愛い絵を入れていただいたハンガーは、同じく年代の幼稚園で使用して頂くことしております。改めて、心のこもった活動に対し、深く感謝申しあげ、御礼とさせていただきます。

□ いわき市の仮設集会所におられた方から

今までありそうでなかったのがハンガーで、クリーニングで使われる針金のもので間に合わせていたので、これから冬場に向かう中、衣服も多くなりこのハンガーは非常に助かるし、大事に使わせていただきます。

□ いわき市在住の方から（電話で）

友達のところに間伐材ハンガーが届いて、綺麗なハンガーを皆さんでお作りになったんですね。凄く素敵であったかい贈り物だったので、もし、よろしければ私共にも送っていただけませんか。

（間伐材クラブスタッフから即日50本を送らせていただきました）

□ 岩手県盛岡市の方から

箱を開けて本当に感動しました。ハンガーの出来もさることながら、メッセージに涙が出そうになりました。木の香りがとてもよく、とても癒され、皆さんの優しさが伝わってまいりました。本当に有難うございます。沿岸の被災された方々にひとつひとつ手渡しで届けます。

□ 宮城県南三陸町と気仙沼市に届けていただいた方から

お預かりしたハンガーを皆さんに手渡しました。自然な素材とシンプルなデザインはとても好評でした。

以上、他にも沢山の感謝のメッセージを頂戴しました。